

ジオパーク が 「日本ジオパーク」に決定しました！

日本初のジオパークに

昨年12月8日、日本ジオパーク委員会により日本初のジオパーク7カ所が選定され、山陰海岸もそのうちのひとつとして認定を受けました。これにより、正式に「ジオパーク」を名乗ることができるようになりました。

昨年世界ジオパークネットワーク加盟申請地域として認定された3カ所（山陰海岸は認定されず）も含めたこの7カ所が、今後世界ジオパークへの登録に向けてさまざまな取り組みを進めていくこととなります。

ジオパークとは

ジオパークとは、学術的に貴重で、美しい地質遺産を有する自然

公園のこと。地質遺産を保全・保護するとともに、研究・教育活動や観光などに活用することで、地域振興への寄与が大いに期待されています。

平成16年、ユネスコの支援により世界ジオパークネットワークが設立されました。現在、ヨーロッパや中国など世界の57カ所のジオパークが加盟していますが、日本からの加盟はまだありません。

この世界ジオパークネットワークの国内版として、各国のジオパークネットワークがあります。このたび認定された7カ所は、今月設立予定の日本ジオパークネットワークに加盟を認められます。

今後は、日本ジオパークネットワーク加盟団体のみが世界ジオパーク登録申請を行えるため、山陰



くみはまねん さす
久美浜湾の砂州（京丹後市）



げんぶどう ちゅうじょうせつり
玄武洞の柱状節理（豊岡市）



よろい そで ちゅうじょうせつり ばんじょうせつり
鎧の袖の柱状節理・板状節理（香美町）



たじまみほのうら かいしよくどう
但馬御火浦の海蝕洞（香美町）

日本ジオパーク認定地



※は2008年に加盟申請した世界ジオパーク候補地



鳥取砂丘の起伏に富んだ地形（鳥取市）



浦富海岸のリアス式海岸（岩美町）



田井の浜のリアス式海岸（新温泉町）



山陰海岸 日本初の

海岸が世界ジオパークとして認定される可能性がますます高くなってきました。

山陰海岸ジオパークを知ろう

山陰海岸の特徴は、まさに「地形・地質の博物館」であることです。2500万年前にさかのぼる日本海と日本列島の誕生のドラマを確認できる柱状節理や地層の露出、海や川によって形成されたりアス式海岸や巨大な砂丘などの多彩な海岸地形など、貴重な地質遺産を東西約110km、南北約30kmの範囲で確認することができ、貴重なエリアなのです。

また、地形が多様多様であることによる美しい景観も大きな特徴です。しかしながら、その価値が海外は

もとより国内にも十分に知れ渡っているとは言えないのが現状です。

取り組みにご協力を

山陰海岸の地質的、景観的価値を十分に周知し、さらに、ジオパークとして活動するためには、地質遺産の案内人である「ジオガイド」の養成や、地質観察の手助けとなる案内看板の整備、そして、貴重な地質遺産の保護・保全を進めていかなければなりません。

山陰海岸ジオパークエリアの3府県6市町の関係団体を中心とした「ジオパーク」推進の取り組みに、市民のみなさんもぜひご参加ください。

問い合わせ先

市役所本庁舎企画調整課 TEL (0857) 20・3153

山陰海岸ジオパークエリアと主なジオサイト

